

評価シート 様式

取組名	パートナーシップで進める”小さな希望”創出育成事業		
実施団体名	NPO推進青森会議	対象地域	青森県大鰐町
(代表団体名)		推薦団体名	大鰐町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	パートナーシップで進める”小さな希望”創出育成事業		
実施団体名	NPO推進青森会議	対象地域	青森県大鰐町
(代表団体名)		推薦団体名	大鰐町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 必ずしも知名度の高くない地域の伝統野菜を首都圏の高級食材を扱う店舗等にターゲットを絞って新たな販路を開拓しつつある等、その戦略や方法等において、他の地域においても参考となるモデル性がある。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、地域の伝統野菜に着目して首都圏における販路を新たに開拓した点など、地域活性化に寄与する取組であると評価できる。今後は、以下の点に留意しつつ地方の元気再生事業を継続することにより本格的な展開が期待できるものである。 次年度以降については、今年度の成果と反省を踏まえ、取組内容の重点化と内容の充実を図ることが重要である。 具体的には、「大鰐温泉もやしの増産と販路拡大」、「地域交流センターワニカムの活性化」及び「ワニカムを拠点とした農商工連携の取組実践」については、次年度の最重点課題であり、プロジェクトおおわに事業協同組合に加え、地域住民・農家・行政等も巻き込み、地域を挙げて取組むべきである。 また、大鰐温泉もやし以外の品目についても首都圏への販路拡大の取組を広げていくことも検討してはどうか。 一方で、「応援ファンクラブの拡大」については、イベント的に実施するのではなく、真に大鰐の活性化につながるものとするべきである。